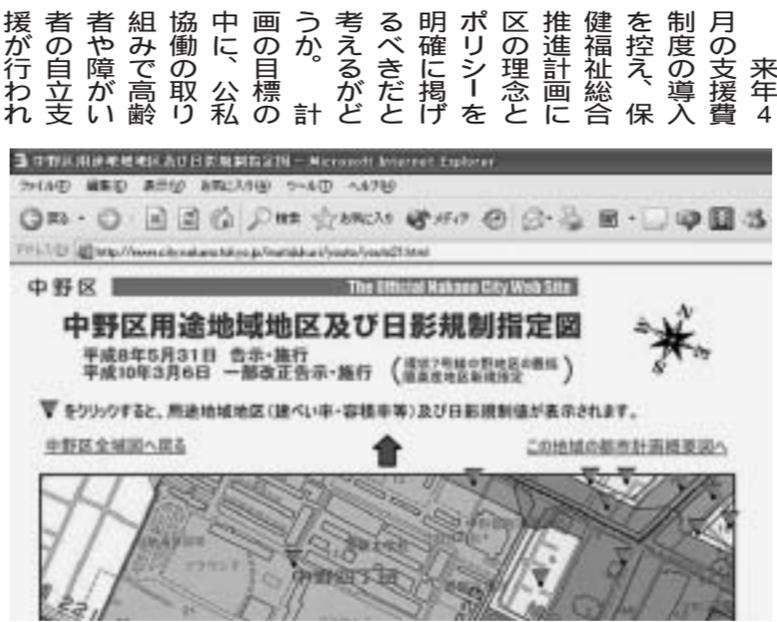


手をコンクリートで固める工事を1月に着手すると区に説明した。区民要望と合意を前提としてJRに臨むべきでは

区長 地元では現地の景観を大切にしており、極力既存のみどりを残すよう、区からも強く要望した。

保健福祉総合推進計画に 区の理念とポリシーを

市民自治フォーラム はつとり 幸子



区ホームページの用途地域図

来々月4月の支援費制度の導入を控え、保健福祉総合推進計画に区の理念とポリシーを明確に掲げるべきだと考えるがどうか。計画の目標の中に、公私協働の取り組みで高齢者や障がい者の自立支援が行われる地域社会の実現を目指すところがあるが、具体的施策が必要では。「民・民の契約の課題」を調査・勧告できるしくみについての考えは。

区長 計画は、区民の健康づくりの推進方策や支援費の導入など、平成15年度以降の区における保健福祉施策の方向性を明らかにするもので、施策の考え方や目標などをわかりやすく示していきたい。不足している更生施設や授産施設などの障害者関連

考えるか。今回新たに外部評価委員会を設置したが、公募の区民委員への情報提供は

区長 行政評価は、区の財源・人材の有効活用、区民の満足度の向上を目指す取り組みであり、計画などの策定にあたっても活用していく。今の手法が確立されたものではないと考える。今後改善を図り、区民の意見も反映しながらさらに充実させていく。所管からのヒアリングの機会を用意するなど、十分に提供していきたい。

用途地域の見直しについて

用途地域の見直しにあたり、

21世紀にふさわしい 魅力ある学校づくりを

無所属 小串 まさのり

学校の改築は築後50年が目安だが、区では平成19年から平成41年まで毎年のように該当する学校がでてくる。学校の統廃合は、建て替えを視野に入れつつ21世紀の魅力ある学校づくりという概念をもつて行うべきでは。

区長 区立小・中学校は小規模化が進行している。学校運営や子どもたちの集団形成に支障があるので、すみやかに統廃合を進める。将来の改築については、まったく新しいコンセプトで学校づく



休み時間に遊ぶ子どもたち

中学校ではスクールカウンセラーや心の教室相談員が配置されたため不登校が減少傾向にあるが、未設置の小学校では増加傾向にある。小学校でも形にはこだわらないが、心のケア対策を急ぐ必要があるのではないか。

教育長 不登校児童への対応として、学校全体での相談活動の充実を図るとともに、心の教室相談員など

区の見直し要領案の考え方。区民参加および情報公開の手法を工夫すべきでは。

区長 都の「用途地域等に関する指定方針及び指定基準」を踏まえ、また区都市計画マスタープランに定める土地利用方針を基本として、要領案を作成する。素案を区報やホームページで公表するとともに、各地域センターで説明会を開催し、区民の意見をいただく。意見は、都市計画審議会で審議した上で、6月には区原案として取りまとめる予定である。

区長 幼児教育の充実、預り時間の延長が区民の強いニーズであり、幼保一元化は重要な施策と考えている。また、基本的に同質のサービスが受けられることを視野に入れて、関係者を交えた検討が必要であると考えている。

小学校における心のケア対策を急げ

中学校ではスクールカウンセラーや心の教室相談員が配置されたため不登校が減少傾向にあるが、未設置の小学校では増加傾向にある。小学校でも形にはこだわらないが、心のケア対策を急ぐ必要があるのではないか。

教育長 不登校児童への対応として、学校全体での相談活動の充実を図るとともに、心の教室相談員など

清掃工場は 23区共有施設とせよ

無所属 むとこう 有子



清掃事務所車庫

の配置については、中学校の実績をもとにその効果を見極めて検討したい。

少子化解消の強いメッセージを発信せよ

中野区として少子化解消の強いメッセージを発信し、アピールできる具体的な施策を

持つべきではないか。

区長 子育てにおける新しい課題にこたえられるように施策をより一層充実させ、子どもを産み育てやすい環境を整えたい。そうすることが区民に対しての強いメッセージになると考えている。

東京23区清掃一三区清掃一部事務組合が「新たな清掃工場建設は不要」とした検討結果は、可燃ごみ量と焼却能力の推移から冷静な判断を下したものだ。各区が各区のゴミに責任をもちつつ、23区共同して清掃事業を行なうべきだ。環境省は23区全体で焼却能力が過剰なら新工場建設の必要性はないと判断し、国庫補助金は支出しないとのことである。

区長 区長会では役員会レベルで調整中である。各区に所在する清掃工場は23区の共有財産であることを踏まえ、発言していきたい。

ヒートアイランド現象 緩和のまちづくりを

東京の街は、東京湾からの風を防ぐように高層ビルが立ち並び、住宅密集地が形成され、車の台数が激増し、オフィスビルから各家庭まで冷房機が設置された。このようなまちづくりにより創出されたヒートアイランド現象によって、夏、教室の気温が38度にもなる中で、子どもたちに勉学に集中せよというのは無理がある。屋上緑化などのヒートアイランド現象を和らげる中野のまちづくりに積極的に取り組んでほしいか。

区長 区立施設の冷房による排熱も、ヒートアイランドの一因であることは認識しており、冷房の設定温度を工夫するなどの努力をしていくほか、区民、事業主などと連携し協議していきたい。

弔慰金廃止の声に対する区の見解は

現職、元職の区議や区長、助役らの特別職が亡くなった際に、遺族に支出される弔慰金は「廃止すべき」との区民の声が寄せられている。弔慰金を税金から支出することの是非について、どのような見解を持つのか。

区長 毎年の予算編成の中で見直しを議論してきたが、結果現行どおり推移してきた。弔慰金は、区政に功労のあった方に支出しており、社会通念上認められる範囲であると思うが、近年の社会の変化から見直す考えである。